

学校教育目標	自主・創造・共生 ○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】				
	創立 48 周年 児童生徒数: 297 人	学校長 田邊正彦 主な関係校: 横浜市立中沢小学校	副校長 井上昌典	3 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	旭中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自ら学び、自ら考え、行動する力 ・変化に対応し、創造する力 ・他を認め、協働して課題解決をする力	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期取組目標	○1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・主体的・対話的で深い学びとなるように授業を改善するとともに、特別支援の考え方をもとに授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会の一員として求められる資質・能力を育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 学習指導部	①教員相互の授業見学の期間を昨年度よりも長く設定し、引き続き授業評価と授業見学を柱に授業改善に取り組む。②各教科でICT機器を活用した対話的な学びについてさらに実践し、その実践事例を教職員間で共有できるように発信する。
徳 児童生徒指導 担当 生徒指導部	①教職員が「児童生徒指導のスタンダード」を確認する機会を学期ごとに設定し、基本理念を念頭に置きながら生徒指導にあたる。②Y-Pアセスメントや行事ごとの生徒の振り返り等で自己有用感が高められているかを確認しながら、親和的な集団づくりに取り組む。
体 健康教育・健康管理 担当 保健安全指導部・体育科	①生徒の主体的な活動を取り入れながら、生徒が健康で安全な生活を意識できるようにすることで、基本的な生活習慣の定着を図る。②保健体育の授業で、単元ごとに必要となる体力を高める運動を行うことで、生徒が体力テストで把握した各自の体力の課題を意識しながら取り組めるように指導する。
公 地域学校協働活動(地域・防災科) 担当 併設型小中一貫教育推進委員会	①地域・防災科の教育課程について、9年間を見通した見直しを行い、「はまっ子防災ガイド」や「防災アニメ」を発達段階に合わせて活用できるように指導計画を立案する。②地域・防災科の授業を通して、自分たちの活動が地域や社会でどのように受け止められているかを客観的に捉える機会をつくる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①学年職員で共有すべき情報と全教職員で共有すべき情報を整理しながら、迅速に情報共有を行い、チームとして対応を行う。②懇談会や個別面談の機会を活用しながら保護者との信頼関係構築を図り、日頃の生徒の様子や指導・支援の内容について保護者と共有することで、いじめの未然防止・再発防止に努める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 主幹・主任会	①経験の浅い教職員の「実践力の向上」に焦点化して、メンターチーム研修を実施する。②ミドルリーダーが学校経営により主体的に参画するために、主幹・主任会を定期的に設定する。③働き方に関する本校のこれまでの取組を整理し、教職員の働き方改革実現に向けて継続的に実践を行う。
特別支援教育 担当 生徒指導部	①アセスメントシートを活用して、長期目標と短期目標を定期的に教職員で確認しながら、見直しをもった支援を行う。②特別支援教室を利用する生徒が、個々の状況に応じた利用ができるように環境整備や仕組みづくりを進める。
特別活動 担当 特活指導部	①全校評議会報告で全校生徒の声を聞きたいことを発信し、コミュニケーションボードや目安箱も活用しながら、生徒の主体的な生徒会活動への参加を促す。②学年評議会や学年レクにおいて、学年間の連携を強化することで、学年を超えた「人間関係形成」を促し、学校全体の連帯感を高める。
担当	
担当	